

# 母子・父子福祉資金 特別会計

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	母子・父子福祉資金貸付事業事務費						事業類型	内部事務					
担当部課	子ども家庭部子育て支援課												
基本計画	編	3	章	1	施策番号	17	子育て・子育て支援の充実			まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	母子・父子福祉資金特別会計			款	01	母子・父子福祉資金貸付事業費	項	01	母子・父子福祉資金貸付事業費	目	01	母子・父子福祉資金貸付事業事務費
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法												
事業目的 (最終的に目指す状態)	配偶者のない女子又は男子等を対象に、12種別の資金を貸し付けることにより、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進する。												

行政コスト計算書

(単位 円)

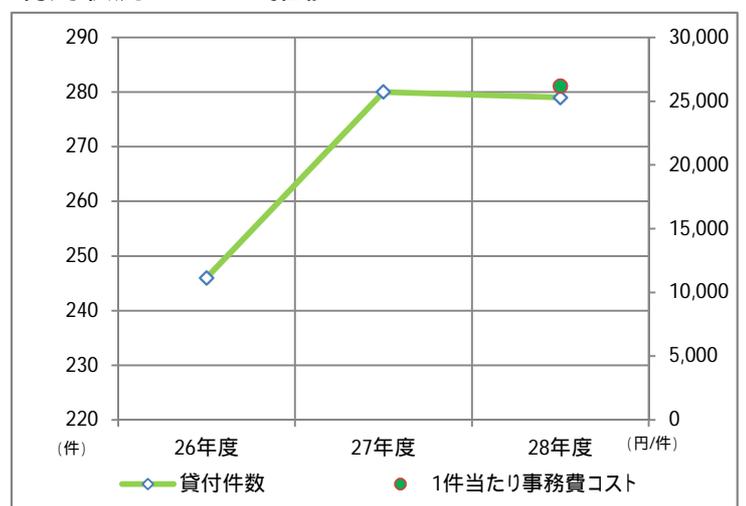
勘定科目		28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	2,198,022	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	177,979		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	195,719		国庫支出金	0	
		その他	2,825,714		都支出金	0	
	小計	5,397,434	分担金及び負担金		0		
	物件費等	物件費	1,904,935		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	7,362,472	
		減価償却費	0		その他	0	
		その他	0		小計	7,362,472	
	小計	1,904,935	経常収支差額(A)		60,103		
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	0		特別収支差額(B)	0	
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		60,103		
	小計	7,302,369	一般財源調整額(D)		0		
移転費用	0	一般財源充当額(E)	0				
小計	7,302,369	再計(C) + (D) + (E)	60,103				

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	人件費 嘱託員報酬【2,466,000円】 共済費【359,714円】 物件費 委託料【972,000円】 役務費【653,617円】	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.25人	0.35人	0.30人	0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.25人	0.35人	0.30人	0.05人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
貸付件数	246	280	279	1
1件当たり事務費コスト			26,173	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

## 事業実績

28年度 目標	母子・父子福祉資金貸付金制度の周知を広め、貸付実績の増加を図る。 催告活動を強化し、償還率の向上を図る。	27年度末時点 の課題と対応	ひとり親家庭の生活の必要性に応じ、効果的に制度が活用されるよう、引き続き制度の周知促進を図っていく必要がある。 貸付金の償還率については、更に向上を図っていく必要がある。
			<b>解決</b>
主な 活動実績	母子福祉資金貸付金 貸付件数 270件 父子福祉資金貸付金 貸付件数 9件 母子福祉資金貸付金元利収入現年度分 償還率 93.70% 過年度分 償還率 10.52% 父子福祉資金貸付金元利収入現年度分 償還率 100.00%		
28年度評価	<b>達成</b>	次年度の展開	<b>現状維持</b>

## 改善・改革の取組

内容	母子・父子福祉資金事務専門員(嘱託員)を任用し、積極的に臨戸訪問催告や電話での催告を行った。 ひとり親家庭支援情報メールマガジン(はち エール)や広報等にて制度の周知を図った。
----	---

## 今後の取組

29年度 目標	母子・父子福祉資金の貸付により、母子・父子家庭等の経済的自立の助成を図り、あわせてその扶養している児童の福祉の増進を図る。	28年度末 時点の課題	ひとり親家庭の生活の必要性に応じ、効果的に制度が活用されるよう、引き続き制度の周知促進を図っていく必要がある。 貸付金の償還について、きめ細かく対応していく必要がある。
29年度の 取組	制度の周知及びひとり親家庭にとって適切な貸付相談を進め、母子家庭及び父子家庭に対し、扶養している子の学費などの12種別の資金を貸し付けるとともに、母子福祉資金貸付金元利収入の償還を進める。	30年度の 計画	貸付相談時に適切な助言を行うとともに、更なる償還率の増を図る。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	母子・父子福祉資金貸付金					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	子ども家庭部子育て支援課											
基本計画	編	3	章	1	施策番号	17	子育て・子育て支援の充実		まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	母子・父子福祉資金特別会計		款	01	母子・父子福祉資金貸付事業費	項	01	母子・父子福祉資金貸付事業費	目	02	母子・父子福祉資金貸付金
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法・同法施行令・母子及び父子並びに寡婦福祉法施行細則											
事業目的 (最終的に目指す状態)	配偶者のない女子又は男子等を対象に、12種別の資金を貸し付けることにより、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進する。											

行政コスト計算書

(単位 円)

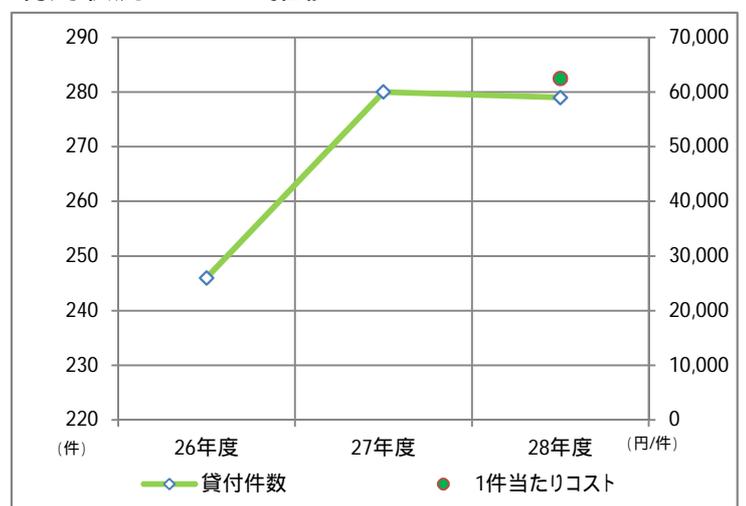
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	13,188,130	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	1,067,871		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	3,182,237		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	0
	小計	17,438,238	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	0		使用料及び手数料	0
		維持補修費	0		繰入金	48,060,283
		減価償却費	0		その他	2,024,283
		その他	0		小計	50,084,566
	小計	0	経常収支差額(A)		32,646,328	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	0		特別収支差額(B)	0
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		32,646,328	
	小計	17,438,238	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	0	一般財源充当額(E)	0			
小計	17,438,238	再計(C) + (D) + (E)	32,646,328			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	母子福祉資金貸付金【125,336,000円】 父子福祉資金貸付金【4,279,000円】	母子福祉資金貸付金元利収入【97,821,728円】 父子福祉資金貸付金元利収入【16,200円】

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.00人	1.90人	1.80人	0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.00人	1.90人	1.80人	0.10人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
貸付件数	246	280	279	1
1件当たりコスト			62,503	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	母子・父子福祉資金貸付金制度の周知を広め、貸付実績の増加を図る。	27年度末時点の課題と対応	ひとり親家庭の生活の必要性に応じ、効果的に制度が活用されるよう、引き続き制度の周知促進を図っていく必要がある。																																																																							
<b>解決</b>																																																																										
主な 活動実績	<p>母子福祉資金貸付金 貸付件数 270件 父子福祉資金貸付金 貸付件数 9件</p> <p>【母子福祉資金貸付実績】</p> <table border="1" data-bbox="236 593 1485 719"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="8">区分</th> <th rowspan="2">貸付額(円)</th> </tr> <tr> <th>事業開始</th> <th>修学</th> <th>技能習得</th> <th>修業</th> <th>生活</th> <th>転宅</th> <th>就学支度</th> <th>合計(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>1</td> <td>160</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>68</td> <td>239</td> <td>116,192,100</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td></td> <td>207</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>269</td> <td>123,791,600</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td></td> <td>224</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> <td>38</td> <td>270</td> <td>125,336,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>【父子福祉資金貸付実績】</p> <table border="1" data-bbox="236 763 860 889"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">貸付額(円)</th> </tr> <tr> <th>修学</th> <th>就学支度</th> <th>合計(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>2,690,000</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>3,999,000</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>4,279,000</td> </tr> </tbody> </table>			年度	区分								貸付額(円)	事業開始	修学	技能習得	修業	生活	転宅	就学支度	合計(件)	26	1	160	3	1	4	2	68	239	116,192,100	27		207	3	2	5	2	50	269	123,791,600	28		224	2	1	5		38	270	125,336,000	年度	区分			貸付額(円)	修学	就学支度	合計(件)	26	3	4	7	2,690,000	27	7	4	11	3,999,000	28	8	1	9	4,279,000
年度	区分								貸付額(円)																																																																	
	事業開始	修学	技能習得	修業	生活	転宅	就学支度	合計(件)																																																																		
26	1	160	3	1	4	2	68	239	116,192,100																																																																	
27		207	3	2	5	2	50	269	123,791,600																																																																	
28		224	2	1	5		38	270	125,336,000																																																																	
年度	区分			貸付額(円)																																																																						
	修学	就学支度	合計(件)																																																																							
26	3	4	7	2,690,000																																																																						
27	7	4	11	3,999,000																																																																						
28	8	1	9	4,279,000																																																																						
28年度評価	<b>達成</b>	次年度の展開	<b>現状維持</b>																																																																							

改善・改革の取組

内容	ひとり親家庭支援情報メールマガジン(はち エール)や広報等にて制度の周知を図った。
----	---

今後の取組

29年度 目標	母子・父子福祉資金の貸付により、母子・父子家庭等の経済的自立の助成を図り、あわせてその扶養している児童の福祉の増進を図る。	28年度末時点の課題	ひとり親家庭の生活の必要性に応じ、効果的に制度が活用されるよう、引き続き制度の周知促進を図っていく必要がある。
29年度の 取組	制度の周知を進めるとともに、ひとり親家庭にとって適切な貸付相談を進め、母子家庭及び父子家庭に対し、扶養している子の学費などの12種別の資金を貸し付ける	30年度の 計画	貸付相談時に助言を行い、ひとり親家庭にとって適切な貸付を行う。

